

第1部-2 パネルディスカッション

発表者1： 児山 啓一（こやまけいいち）

国際的視点から見た、鉄道とサインの公共性



(株)アイ・デザイン代表取締役 千葉大学工学部工業意匠学科卒。

主に公共のサイン計画に取り組み、JR東海、JR西日本、京浜急行等の鉄道のサイン計画及びサインマニュアル作成や、成田空港、羽田空港をはじめとする全国の空港のサイン設計を手がける。また、図記号（ピクトグラム）の標準化にも貢献し、ISO/TC145/SC1公共案内用図記号、JIS案内用図記号の委員として国際・国内で活躍する。

発表者2： 定村 俊満（さだむらとしみつ）

ユニバーサルデザインの実践とサインの役割



(株)ソーシャルデザインネットワークス代表取締役社長。

九州芸術工科大学画像設計学科卒。1975年(株)ジーエータップ入社、2001年同代表取締役社長。2014年(株)ソーシャルデザインネットワークス設立、代表取締役社長。福岡を拠点に全国でデザイン活動を展開。空間領域と情報領域を横断するトータルなデザインアプローチが特徴。特に障がい者や老人、子どもなど社会弱者のためのプロジェクトは国際的に大きな評価を得ている。前(公社)日本サインデザイン協会会長。

発表者3： 大森 正樹（おおもりまさき）

鉄道の課題を解決するコミュニケーションデザイン



(株)ジェイアール西日本テクノス車両事業部設計部長。千葉大学工学部工業意匠学科卒。1989年西日本旅客鉄道(株)入社。鉄道車両の設計・デザインを担当。車両サインや、プロモーション用パンフレット、JR 西日本サインマニュアル（車両の章）、路線図等のグラフィックデザインに携わる。2010年車両部車両設計室課長。広島エリアの電車レッドウィング、大阪環状線新型車両323系、Twilight 瑞風（みずかぜ）などのプロジェクトに関わる。2017年ジェイアール西日本テクノスに出向。

モデレータ： 南井 健治（みないけんじ）



近畿車輛(株) 取締役設計室長。京都市立芸術大学卒。

1979年近畿車輛(株)入社。以後内外の車両デザインに携わる。2015年より現職。レイルウェイデザイナーズイブニング実行委員長。著書に「鉄道車両のデザイン」（学研・2012 2013年交通図書賞に選定）。